

◆歩こう会 恋も同時に 歩んでた（P・Nうおーキング）

◆ああゆめか 彼女抱き寄せ 目が覚める
(P・N角奈緒也)

◆鮎踊る 心も跳ねる 初デート（P・Nおーとめえ）

◆東風（あゆ）運ぶ 見上げた青空 笑顔の君
(P・Nいちごかめん)

◆恋模様 合間をぬつて 泳ぐ鮎

◆歩まずに 居られぬ君と 幾歳も（P・Nすふいんくす）
(P・Nいちごかめん)

◆泳ぎつつ 鮎の見守る 町の恋（P・N汐海岬）

◆風鈴が チリンと鳴つて 恋終わる
(P・N花キヤベツ)

◆君となら 鮎泳ぐ川 故郷に

◆アイスティ 氷溶けたが 彼は来ず（P・N薬寺村池丸）
(P・Nすふいんくす)

◆鮎レディー？ 塩・串揃え 待つてます
(P・N H-I-K-K-Y)

◆鮎の骨 綺麗に残した 君に惚れ
(P・Nあおいそら)

◆出会いから 二人で歩んだ 半世紀

◆陽炎に 二人の影も 摆れでいる（P・N花キヤベツ）
(P・Nあおいそら)

◆恋実り 零（あゆ）りし涙 とめどなく（P・Nトモモ）

◆結ばれる 二人の心 鮎河原（P・Nあおいそら）
(P・Nあおいそら)

◆百万年後も あなたと 歩んでる

◆サイダーの 泡と日焼けと 消えた恋
(P・Nとなみん)

◆ミス岩美 君はスターの 道歩む

◆若鮎と 呼ばれた妻は 今いすこ
(P・Nとなみん)

◆将来へ 君と歩んで 影ひとつ

◆どしゃ降りも ひとつの傘で 歩む恋（P・N光風雲）
(P・Nたけ)

◆鮎のように 水がはじける 肌欲しい

◆宿題は 二人で歩む 道調べ（P・Nたけ）
(P・Nたけ)

◆鮎料理 食つたつもりで めざし食う

◆見てたのは 花火じゃなくて 君の顔（P・Nたけ）
(P・Nたけ)

◆幾たびの 夏が流れて 名も忘れ（P・N影法師）

◆プロポーズ 今か今かと 夏の夜（P・N柳児）
(P・N柳児)

◆暑くても 真っ赤な恋には かなわない

◆夏休み あの娘（こ）に会えぬ このつらさ
(P・Nかっこー)

◆灼熱の 恋にや暑さも 逃げます（P・N翔のんまな）

◆マジ！マジで？ AYUに告られ 朝憎し
(P・Nハマちゃん)

◆夏空と この海山に 恋してる 夏空に

◆匂がれてる 思いよ届け 夏空に
(P・Nみやんくん)

◆匂い香で 旅愁味わう 鮎の里（P・Nカズちゃん）
(P・Nカズちゃん)

◆ 塩焼きの 鮎をほおばる 恋仲間 (P・Nみっちゃん)

◆ 歩みとめ ふいに口づけ 遠花火 (P・Nハイネ)

◆ あなた見て 心できいた アーユーハッピー?

(P・Nボビー)

◆ 鮎になり 寄り添い泳ぐ 天の川

◆ 駐初めは 鮎つり絡んだ 赤い糸 (P・N高塔山の河童)

◆ 堀をして アユつかみ取り 子らの夢

◆ 清流で 相手求めて 河鹿なく (P・N雅)

◆ あの女(ひと)の 香り懐かし あゆの風 (P・N看花郎)

◆ 爛漫に 鮎を骨まで 食べるきみ (P・N雀頭対子)

◆ 古希すぎて 恋の一匁を ひねる夏 (P・N好日郎)

◆ 天の川 夢の中まで 逢いに恋 (P・Nみつかいかさ)

◆ アルバムに 若鮎だつた 頃の我れ

◆ まだ続く この猛暑にも 耐えた恋 (P・Nかきくけ子)

◆ キュンとくる 夏の打ち上げ 大花火

◆ 縁起物 占い上手 鮎に聞こ (P・N光山道潤)

◆ 思い出す 初めて君と 食べた鮎

◆ かき氷までも 溶ろける 夏の恋 (P・Nなほぱぱ)

◆ 青空と 汗とが借景 想い出が (P・N湘里庵)

◆ 若鮎に 友釣りかけて ゴールイン (P・Nひもじーさん)

◆ またこけて 一步一步と 歩む孫 (P・N隆太郎)

◆ 鮎になり あなたに釣られて みたい夏

◆ 清流の 心で歩む 恋の道 (P・Nはるやす)

◆ きらきらと 婚活をする 鮎と君

◆ 砂浜の カレに突進 すいか割り (P・N真昼)

◆ ひと夏の 恋が育つて 歩む秋 (P・Nよしたい)

◆ 消費税 日本政府と 歩めない (P・Nクンタ・キンテ)

◆ Are You?と 心で愛を 問いかける

(P・N清茶庵)

◆ 恋占い 魚で占い 鮎使う (P・Nコイでなく鮎)

◆ 若鮎が はしゃいだ夏の 恋しぶき

(P・Nパタパタママ)

◆ 夕暮れの メールに飛ばす 恋蛍 (P・Nふくりん)

◆ 清流に きらり鮎二尾 夏の恋 (P・Nふつきー)

◆ ウナギより 愛する彼に 鮎を焼く (P・N夕顔)

◆ 夏花火 長い場所取り 君のため (P・Nともえ)

◆ 友鮎に 糸を切りたい 出逢いあり (P・N船岡五郎)

◆ ロンドンの 若鮎たちに 恋をする (P・Nれんじい)

◆ 初デート 鮎の塩焼き ほろ苦い (P・N呑ぶら子)

◆ アルバムに 母が恋した 夏が或る (P・Nあいらむ)

◆ かき氷 君と食べれば すぐ融ける (P・Nしかむすこ)

◆ ああごめん きみの尾鰭に 見惚れてた

(P・N 金魚姫に恋をした)

◆ 若あゆの 苦みに惚れて いまふたり

◆ 若鮎の 苦みに惚れて 今夫婦 (P・N せせらぎ)

◆ 鮎はいい 友釣りなんて 策がある

◆ 鮎は旬 私も旬と PR (P・N クジラ)

◆ 鮎もなか 頭は君に しつぽ僕

◆ 三人に 鮎の箸置 仲直り (P・N ながれやま)

◆ 泣き虫で 歩み寄りたい 守りたい (P・N あじさい)

◆ 泣恋の 相談するふり 仕掛け針 (鮎) (P・N 尼の雀)

◆ 失恋の 鮎恋し 心釣られて 幾年か (P・N 悠)

◆ 泣き虫で 歩み寄りたい 守りたい (P・N あじさい)

◆ 鮎もなか 頭は君に しつぽ僕

◆ 泣き虫で 歩み寄りたい 守りたい (P・N あじさい)

◆ 泣恋の 相談するふり 仕掛け針 (鮎) (P・N 尼の雀)

◆ 泣き虫で 歩み寄りたい 守りたい (P・N あじさい)

◆ メスの鮎 お酢(オス)がその味 引き立てる

(P・N マリー)

◆ ああ、爽快 鮎の骨抜く その瞬間 (P・N まる)

◆ 恋葉 混ぜてビキニへ 水鉄砲 (P・N ルーク)

◆ お揃いの 浴衣で弾む 胸と足 (P・N れもん)

◆ 遠回り 心もあゆむ 出会う恋 (P・N れいいち)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ お静かに 只今鮎の ハネムーン

◆ 絵手紙に 鮎一匹が 夏告げる (P・N 佐野由利子)

◆ 夏祭り 金魚もキミも 頬を染め (P・N もへじ)

◆ 銀婚式 魚占い 鮎を釣る (P・N森のうさぎ)

◆ 次の恋 辺りつけずに 夏終わる (P・N森のうさぎ)

◆ 花火より あなたの顔を見てたつけ
(P・N神崎みさき)

◆ 合宿で 夜中にこつそり 会つてたね (P・Nぽつち)

◆ A re y o u r e a d y ? 君への想いは O K よ

◆ 縄張りを 鮎のごとくに 倦怠期 (P・N P O N 5)

◆ 美しき あなたの肌は 鮎のよう (P・Nらんご)

◆ 暑い日々 緑重なる 夏の日々

◆ 手を取りあい 供に歩んだ 25年 (P・N甲斐千春)

◆ 夏の日の 恋は熱くも 冷めやすく

◆ プチトマト 噛んだら彼の シャツにぶち!

◆ 踊る輪の たつたひとりを さがして

(P・Nかわちゃん)

◆ この土地で 君と歩んだ 半世紀 (P・N Konkon)

◆ 鮎の香に 良く似た君の 髪が好き

(P・Nだじやれまん)

◆ 光る夏 鮎のささやき 盆浴衣 (P・Nだじやれまん)

◆ 人生を ともに歩んで 珊瑚婚

◆ あゆの香が 口にひろがる 旅の宿 (P・Nヒデじい)

◆ 鮎釣りで 釣った彼女が 今妻

◆ 風鈴に 恋するふたり 韶き合う

◆ おふたりは いつもお似合い

サマ (summer) になる (P・Nとんちゃん)

◆ 鮎みたく いつかあなたへ 戻りたい (P・Nピノコ)

◆ これからも 共に歩もう でこぼこ道 (P・Nはまつち)

◆ 花火より あなたの顔を見てたつけ

(P・N神崎みさき)

◆ かき氷 愛のトンネル 通じ合う

◆ パラソルに 隠れて恋の 花が咲く (P・Nうずまき君)

◆ 鮎だから 激流いとわず 棲めます

◆ 荒波を 苦労承知で 歩みます (P・N大和の雨蛙)

◆ 夏の日の 恋は熱くも 冷めやすく

◆ 夏の海 寄せては返す 恋心 (P・N雀の涙)

◆ 彦星と 織姫添えぬ 天の川 (P・N湯たんぽ)

◆ 陽だまりも スコールもある 夏の恋 (P・N香山)

◆ ひと目ぼれ 自分に尋ねる

A re y o u r e a d y ? (P・N鮎女)

◆ 君を見て 鮎の味さえ 覚えてない

◆ 水を得た 鮎になります 恋を得て (P・N変人)

◆ 夏の恋 花火の様に 舞い上がる

◆ 祭り渦 花火が誘う 夏の恋 (P・N働き蜂ちえちゃん)

◆ 風鈴の 音色にうかぶ 過ぎし恋

◆ 彼の時は 君に寄り添い 庭花火 (P・Nみすず)

◆ 初めての 君の浴衣に 気もそぞろ

◆ こけ(苔)なけば 歩む(鮎生む)ことなし 恋川原

(P・Nかんのんの)

◆ 故郷の 緑日ふたり 結びつけ

◆ 秘めた恋 花火のように 打ち上げる (P・Nミント)

◆ 夏の恋 熱が下がれば 秋(飽き)が来る (P・N星 武道)

◆ 川と海 鮎も同じね 浮気性 (P・Nみく)

◆ ひと夏の 砂に描いた 恋でした

◆ 弾む夏 初恋の子と 国訛り (P・N氷川の 杜)

◆ かき氷 ひとつに匙が ふたつほど (P・N姫ちゃん)

◆ 歩寄る 一步はいつも わたしから (P・Nななつ)

◆ 愛すつて こんなに歩み 軽くする

(P・N Tシャツ日和)

◆ 清流の 証明鮎が 遡上する

(P・N比呂子)

◆ 鮎飯と 聴いて長驅 帰省する (P・N茂平)

◆ まっしぐら 川の匂いの 分かる鮎 (P・N茂平)

◆ 恋に酔い 心地良さげに 世を歩む

(P・Nおつきらい)

◆ 歩み止め 君の背に映ゆ 遠花火

◆ 遅くとも 二人の歩み 明日に向け (P・Nやまちゃん)

◆ 初恋の 人に思わず 歩み寄り (P・Nかずりんちゃん)

◆ 歩み止め 君の背に映ゆ 遠花火

◆ アユの道 清かに流る 道が好き (P・N飛び魚)

◆ 溪流の エコの“語り部” 鮎の群れ (P・N蜻蛉)

◆ あえかなる いのちのほがらよ 囮鮎 (P・N茶々丸)

◆ 鮎真似て 友人おどりに コイ狙う (P・N北山エイト)

◆ 若鮎が するり飛び込む 腕の中 (P・Nかたおもい)

◆ エアコンを 切つて薄着に させる罠

◆ つないだ手 離したあとに 拭く彼女 (P・N夏舟)

◆ 歩む道 スキップになる 初デート (P・Nしかおどこ)

◆ 洗衣着て 手と手を鮎む 夏の夜 (P・Nれんこ)

◆ 歩む音 来いよ届けど 風鈴に

◆ クーラーを 切つてお2人 扇ぎ合い (P・N毒吐信士)

◆ 君の後 歩む幸せ あの日から (P・N一本木)

◆ 歩み寄る 一步はいつも わたしから (P・Nななつ)

◆ 梅雨晴れが 楽しいデート 演出し

(P・N飯田屋飛躍)

◆ 歩む道 君と二人が ちょうど良い (P・N英英緒)

(P・N英英緒)

◆ 若鮎の ような告白に 頷く

(P・N茂平)

◆ 若鮎の ような告白に 頷く

(P・N英英緒)

◆ 背は夕陽 まさにチャンスで 歩み寄る

(P・Nせんちゃん)

◆ 鮎もなか 食べて夢みる 甘い恋 (P・N散歩)

(P・N茂平)

◆ 鮎もなか 食べて夢みる 甘い恋 (P・N散歩)

(P・N茂平)

◆ 鮎もなか 食べて夢みる 甘い恋 (P・N散歩)

(P・N茂平)

◆ 東風(あゆ)浴びて 流る髪を 追いかける

(P・Nつぶ焼きイモー)

◆ 友釣りは 恋の鞘当て 寄らば斬る (P・N黒柿)

◆ 蛍の火 恋焦がれて もう50年 (P・Nよつは)

◆ 憎いのは 恋の邪魔する おとり鮎 (P・N奴だこ)

◆ アーユワー マイスヴィート ホームハニー?

◆ 若鮎の ごとく跳ねたる わが初恋 (P・N悠々愛々)

◆ 鮎釣つて 恋の思い出 よみがえる (P・Nみぢんこ)

◆ あら不思議 わたしの恋は いつも夏

(P・N 紫陽花の宮)

◆ 繩張りに 入って来ない 鮎ばかり

◆ 待ちつづけ 恋に疲れし 囂鮎 (P・N ポンタロウ)

◆ 捏んだと 思えばつるりん 鮎に恋 (P・N もも)

◆ 別の道 歩む二人の 同じ恋 (P・N 琴音翼)

◆ 夏の日に 鮎と初恋 飛び跳ねる

(P・N pa-i-pa-i-ibuchin)

◆ 好きならば ぼくのところに 鮎に恋

◆ 夏の恋 終わってぼくは 歩みだす (P・N 春舟)

◆ 好きなラバの 綺麗な君と 鮎が好き

◆ 若鮎の 君はいつも 捏めない (P・N たかさま)

◆ 好きなラバの 綺麗な君と 鮎が好き

◆ 夏の恋 終わってぼくは 歩みだす (P・N 春舟)

◆ 好きなラバの 綺麗な君と 鮎が好き

◆ 夏の恋 終わってぼくは 歩みだす (P・N 春舟)

◆ はぐれない ようにつなぐ手 夏祭り (P・N 鼓吟)

◆ はぐれない ようにつなぐ手 夏祭り (P・N 鼓吟)

◆ はぐれない ようにつなぐ手 夏祭り (P・N 鼓吟)

◆ 鮎解禁 塩焼きせごし 恋しいな

◆ 鮎解禁 鮎としたいな ランデブー (P・N 光男)

◆ 鮎解禁 鮎としたいな ランデブー (P・N 光男)

◆ 鮎解禁 鮎としたいな ランデブー (P・N 光男)

◆ 鮎解禁 塩焼きせごし 恋しいな

◆ 初恋の 小さな気持ち 歩んでく (P・N SNSD)

◆ 砂浜で あなたと歩む 恋の道 (P・N ボッスン)

◆ 並木道 まるであなたと 歩む道 (P・N Red)

◆ あの人と 歩む青春 夢みてる (P・N ポンポ)

◆ 帰り道 あなたと歩む 恋の道 (P・N おさつペ)

◆ 梅雨時期に あなたと歩む 傘1つ (P・N ト音くん)

◆ 彼のこと 目で追いかがら 歩む日々 (P・N みるく)

◆ 手をつなぎ 歩んで行こう これからも (P・N ☆)

【学校編】

◆ 夏祭り あなたと二人 歩む夜 (P・N プリン)

(P・N 紫陽花の宮)

◆ 夏焼けを バックに歩んだ あの記憶 (P・N シルバー)

◆ 高校に 君と歩んで 行きたいな (P・N エルモ)

◆ 忘れない 君と歩んだ 花火道 (P・N すがちゃん)

◆ 若鮎が はねるキラキラ 水しぶき (P・N トントン)

◆ 花火舞 肩に寄り添う 鮎美さん (P・N ラズベリー)

◆ 放課後の あなたと歩む 帰り道 (P・N 樹月)

◆ 万縁で 君と一緒に 歩むんだ (P・N 青空)

◆ 帰り道 君と歩みを 合わせたい (P・N 必須)

◆ 夏の道 君と歩んだ 過去がある (P・N むっちゃん)

◆ さようなら あなたと歩む この道に (P・N はっしー)

◆ 帰り道 歩む二人の 影並ぶ (P・N ニック)

◆ 川遊び 鮎の友釣り 五月雨だ (P・N リロ)

◆ 君想い 歩んだ道は 交わらず (P・N 汐音)

◆ 花火から 私の思い うちあがる (P・N いしどん)

◆ あの人には 想いを届け 桜咲く (P・N リロ)

◆ 好きですと 本当の気持ち 言えたら (P・N さら)

◆ 花火より 花火を見てる 君が好き (P・N DGK)

◆ 引っこしで さよならつげる お別れの

(P・N おかもん)

◆ 教室で 目が合うたびに すぐそらす

(P・N みーたん)

◆ 花火咲く あなたとずっと 見上げたい

(P・N みーたん)

◆ 夏祭り 何より探す 君の姿 (P・N こうたろう)

◆ あなたとね 見上げた空に 虹かかる (P・N ピーチ)

◆ 夏はなび いっしょにやろう あたたまる

(P・N まいまい)

◆ 暑い夏 流した汗と 散った恋 (P・N ナエムラ)

◆ この空を 君のとなりで 見てみたい (P・N ヒロっち)

◆ 辛いのは あなたをみてる 私のせい

◆ 思い出を 二人でいっしょに つくりたい

(P・N やまっち)

◆ 夏の夜 あなたと見たよ 星空を (P・N うさぎ)

◆ まっすぐな 君への思い いつまでも (P・N グリーン)

◆ 手をつなぎ 君と遊ぼう 夏祭り (P・Nサイサイ)

※以上、吹田市立豊津西中学校のみなさま

時空を超える (兵庫県)

◆ 国生みの 古事記に記さる 姫の名は 千参百年の

◆ 騒音も 手話の恋路は 邪魔出来ぬ (P・N湯たんぽ)

◆ 誉めてあげ 優しくしてあげ 労わりも

◆ 長生きは 二人で元気に 手をつなぎ (P・N虎次郎)

◆ 騒音見ると 怒っていたのに にやけ顔

◆ (P・Nグルミット)

◆ パブロフの犬 初恋は 沈丁花 (P・N文海胡)

◆ 胸を打つ 万葉人の 恋の歌 (P・N星 武道)

◆ 語らずも いつも寄り添う つがい鳥 (P・N星 武道)

◆ 胸を打つ 万葉人の 恋の歌 (P・N茂平)

◆ 語らずも いつも寄り添う つがい鳥 (P・N星 武道)

◆ もう少し わがまま言わせてネ 貴方 (P・N里美)

◆ クラス会 解凍してる 恋心 (P・N雄之介)

◆ タ立の 相合傘が 結ぶ恋 (P・N紙風船)

◆ 古希の会 ホの字の彼女(ひと)と 視線避け

(P・Nとうちゃん)

◆ 今日もまた 憧れのひと 傘のそと (P・N川流れ乾太)

◆ 激しかれ 愛川面衝く 雨のごと (P・Nすふいんくす)

◆ おかしさえ 喉を通らぬ 片思い (P・Nおさぼう)

【特別賞】

◆ アクセルを 踏み込むような 夏の恋 (P・Nよこべー)

◆ 『一言』 夏の時季ならではの疾走感がたまりません☆

◆ 笑ってよ 君の笑顔で 夏開始 (P・N鯛)

◆ ギター弾く 半袖シャツに 夏光る (P・Nちずちゃん)

◆ 『一言』 鳥取の「青い鳥コンサート」いいですよ♪

◆ 飴売りの大胸筋に ときめいて

◆ 初恋に 破れ泣く娘の いじらしく (P・Nはまゆう)

◆ 今日告る 娘のために カツ弁を

◆ ストレート 僕の投球 ストライク (P・Nグッチ)

(P・Nむきむき実現党)

◆ひとり旅 夏季限定の 恋をする (P・Nぽっち)
『一言』こんな大人女子な旅、夢のまた夢…ですかね。

◆夏期講習 あなた目当てで 通つてた (P・N黄くま)
『一言』オンナゴコロの素直な表現が花マルです。

◆指切りの ホームに蟬の なく郷は (P・N福期待)
『一言』郷愁を誘う田舎まちの情景が印象的です。

◆アルバムを 歩む手のひら たくましく (P・N三つ柏)
『一言』幼児の漲る生命力の描写に目を奪われました。

◆愛孫は あつと言う間の 里帰り
(P・Nよつたんぼうや)

『一言』私でも切ない。切な過ぎて、涙・涙・涙…。

※以上十名様には、秀句として鳥取限定モ愛ストラップをお贈りします。また、今回も優秀な作品が多く、惜しくも特別賞に届かなかった次の三名の方の作品も、プチ特別賞としまして、ゆらゆら因幡の白ウサギストラップをお届けします。

◆はじめそそう あなたに抱かれ 鮎になる (P・N鮎美)
(P・Nみずきち)

◆夏の恋 探しに上る 雲の峰 (P・N散歩)

なお、紙面のスペース上、多数にわたるご応募の方につきましては、掲載を二句までとさせていただいております。悪しからずご了承ください。また、作品にペンネーム(P・N)の付してないものについては、宛先のみご紹介させていただいています。

また、抽選の結果発表については、発送をもつて代えさせて頂きます。次回の【秋】「は梨(話) ふくらむ川柳」編は九月に募集しますので、お見逃しなく☆



先日(8月18日土曜日)山陰、いやおそらく全国でも初となる『古事記ヘアショー』を地元の理容師さんと開催しました。「因幡の白うさぎ」のストーリーに沿って、物語に登場する神様たちに扮した5人のモデルさんたちが、華麗に古代ヘア?へと変身していく様子はたいへん見ものでした(@^@)/~~~

by. KISAKI HIMEKO
(郷土神話観光
コーディネーター
☆)

